

昭和50年代 全国各地で繰り広げられた新館建設運動 今、三代目となる新しい日本青年館を建設しています。



3代目 日本青年館 (平成29年初夏オープン)

大正14 (1925) 年10月26日、青年団員による一人一円拠出運動により総工費162万円 (当時)、地上4階地下1階建ての初代日本青年館が神宮外苑に誕生しました。

昭和54 (1979) 年2月1日、全国青年団の積極的な募金活動と文部省 (当時) や全国知事会、そして自転車振興会、船舶振興会等多くの関係機関のご支援により総工費54億円、地上9階、地下3階建ての二代目の青年館が同じ地に生まれかわりました。

そして、来る2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国立競技場が改築されることに伴い、日本青年館はこれまでの場所から南に100mの外苑の地に移転することになりました。総事業費は143.9億円、地上16階、地下2階建てとなる三代目の青年館を現在建設中です。

三代目日本青年館の建設資金は、国からの移転補償費を原資とし、toto助成等をいただいておりますが、最終的に市中銀行より約20億円の融資を得なければならない状況にあります。

日本青年館は、大正10 (1921) 年の財団設立以来、施設の管理運営と共に全国の青年団の育成、青少年団体に対する支援をはじめ、文化・スポーツの発展並びに国際交流等に努めてまいりました。

特に、日本青年団協議会の活動拠点として、全国の地域青年団のために青年館が果たしてきた役割は多大なものがあります。

今日、青年をとりまく環境はたいへん厳しく過酷なものがあります。未来を担う青年が集い、学び、交流できる場を提供し、各地で活動する青年や市民をつなぐ拠点となることは、日本青年館の使命とも言えます。あわせて、ホールとホテルを併せ持つ日本青年館は、文化や芸能、情報の発信拠点としても大きな役割を担うことが期待されています。

新たな日本青年館が、青年の活動や成長を保障し、社会の期待に応える場として豊かに機能してゆくためには、多くの方々のご支援とお力添えが何より大切な支えとなります。

今を生きる青年の皆様、青年団OB・OGの皆様、青年に未来を託す皆様、新しい日本青年館の建設と新たなスタートのために、ぜひとも暖かいご寄付をお寄せいただけますようお願い申し上げます。



初代 日本青年館 (大正14年10月) 開館



2代目 日本青年館 (昭和54年2月) 開館



新住所：東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1 TEL.03-3401-0101

あなたの募金が青年(団)の未来につながります

全国津々浦々でご活躍の、かつて青年団運動に汗したOB、OGの皆様
日本青年館をご支援いただいている各企業、関係団体の皆様

青年たちの未来を支えるために、
皆様の想いを新しい日本青年館に託し、
ご賛同とご寄付をお願いいたします。

**1口3,000円からの
ご寄付を呼びかけています**

※ご寄付は、下記 ゆうちょ銀行払込取扱票をご利用ください。

ご寄付いただいた皆様のご氏名、市町村名、会社・団体名を
ホームページに掲載しています。

www.nippon-seinenkan.or.jp より財団HPへお進み下さい。

問い合わせ先 ▶

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6 秀和虎ノ門三丁目ビル4階
一般財団法人日本青年館総務課 (江口・松尾・小森)
TEL:03-6452-9015 FAX:03-6452-9016
info@nippon-seinenkan.or.jp

払込取扱票

通常払込料金
加入者負担

02	口座記号		口座番号 (右詰めで記入)				金	千	百	十	万	千	百	十	円
*	0	0	1	9	0	2	*				6	0	7	7	8
加入者名	* 一般財団法人日本青年館											料	金	備考	

メッセージをお書き下さい

日本青年館建設募金

〒
*
おとし
*
おなまえ

(ご連絡先電話番号 - -)

様

日	
附	
印	

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	* 0	0	1	9	0	2	* 通常払込 料金加入 者負担	
	*							
加入者名	* 一般財団法人日本青年館							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	*							
ご依頼人	*							
料	金	日 附 印						
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しく下さい。

切り取り線

この受領証は、大切に保管してください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。